

リレー連載 生ヒストリー温故知新
第2回 石井光春さん (54期)

☆一番印象に残っていること

【ゴルフ同好会の創設】

ゴルフは普段お付き合いのない者同士が、懇親できるという、まさに同窓会の趣旨にそっていると考えた。運動により健康に貢献し、マナーも求められる。創設から約20年春秋のコンペを中心に続けているが、この同好会がさらに長く続くことを願っている。

☆一番苦労したこと

【後任会長で同窓会初の女性会長を推薦したこと】(その背景について)

現役時に、総合商社勤務で米国と中国に長期赴任し、女性の社会進出を目のあたりにしてきた。同窓会活動に携わってみて、我が同窓会も日本社会と同じく男社会の典型であると痛感した。母校の卒業生も、女性が年々増えていた時期で、近い将来も考え関東同窓会に女性の積極的な参画を考えた。しかし日本独特の長い歴史と自然環境が根底にあり簡単に変えられない。ならば、「形」からアプローチしてみることにした。「存在が意識を決定する」ある哲学者の言葉である。

ところが、候補者選びの段階で、想像を超える難題であることが判明。役員内で適任者はいたが、ことごとく固辞された。後輩から候補者を推薦するという慣例には反するが、懇意にしていた同期の女性に改革の糸口として声をかけ、快諾とはいかなかったが承諾いただいた。就任後は運営にかなりご苦労され、役員の皆さんも戸惑うことが多かったと想像する。ご本人や当時の関係者には感謝の気持ちでいっぱいだ。

☆同窓会に

日本でも最近「ジェンダーギャップ」に関心が高まり、同窓会会員にも女性が益々増加している。同窓会活動にたくさん参加、参画される方が増えてゆくことを期待したい。



筆者在学時 昭和 28 年（1953 年）英語班英語劇ミレザブル集合写真
（前列真ん中が筆者、後列左から 2 人目が第 15 代会長前田喜美子さん）



第 36 回関東同窓会ゴルフコンペにて
（2021 年 11 月 5 日（金）@千葉カントリークラブ川間コース）